

時間学特別セミナー

—生命科学部門—

日時：2019年11月15日（金）
14時30分～16時00分

場所：山口大学理学部 15 番教室
（山口市吉田 1677-1）

講師：笹浪 知宏 先生

（静岡大学大学院総合科学技術研究科農学専攻、教授）

【鳥類の受精戦略—その生理的意義とメカニズム—】

動物は受精戦略に工夫を凝らし、生存競争を勝ち抜く事で今日における進化を遂げてきた。鳥類は季節繁殖を行う動物であり、その受精戦略は非常に巧みである。繁殖期には日長の変化に応答して短期間のうちに生殖器を巨大化させ配偶子生産を行い、雄は雌に対して魅力的になるとともに、雌はその魅力を区別する能力を研ぎ澄ます。輸卵管には精子を長時間貯蔵することの可能な精子貯蔵管を備え、排卵のタイミングに合わせて精子を受精の場まで輸送する。また、卵生である鳥類の卵は巨大であり、この巨大な卵子を活性化するために100個以上の精子を卵内に侵入させるが、その中からたった一つの精子を選び受精させることが可能である。これらの現象のメカニズムの多くは不明であるが、我々がこれまでにウズラで明らかにしてきた知見を紹介したい。

※事前申込み不要

※参加無料

どなたでもご参加いただけます。

皆さまのご参加をお待ちしています。

問合せ先

時間学研究所 事務室

TEL：083-933-5848

MAIL：sh076@yamaguchi-u.ac.jp